

## 評価

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

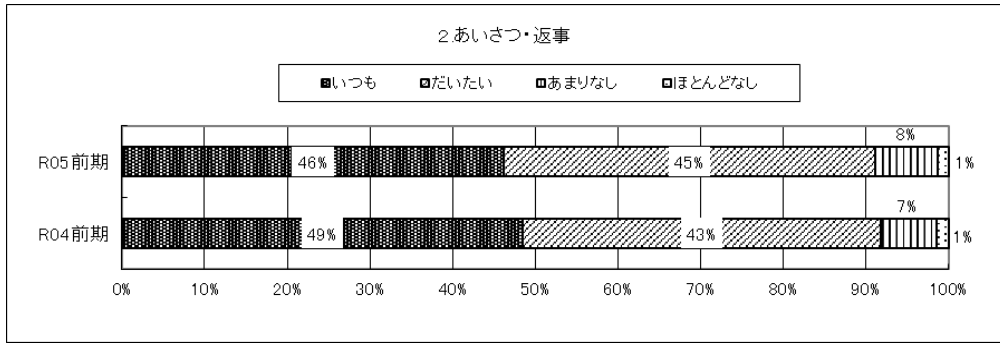
## I 自主的・自律的な生活

児童の状況	自己評価A	学校関係者評価	外部評価委員のコメント	
明るく元気な態度で、きまりを守り、けじめのある生活をしようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	生徒の実態を把握し、その実態に合わせた取組が見られる。先生方も理解し取り組んでいるが、児童全体には浸透していない。すぐに効果は現れないと思うのでこれからも組織で取り組んで欲しい。後期の向上を期待している。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	<b>【前期(→年度)】</b> ①今年度、「実践課題」とそれに伴う「主な取組み」の一部を改訂した。1-(1)と1-(3) ②今年度も、あいさつと返事に関して、指導の重点をしている。あいさつに関しては「目を合わせてあいさつ」、返事に関しては、「はいっ。」という歯切れのよい返事、そして、相手の声に関して反応を忘れないことを重視している。これに関連するアンケート調査では、児童、保護者ともに数値的には昨年度同時期とほぼ同じ数値だが、更なる向上に努めたい。 ③今年度、「学校のきまりを守る」という項目について、子どもの自己評価が、昨年度同時期に比べ低くなった。これは、子どもが決まりを守れていないということではなく、決まりを守ることの大切さについて、生徒指導主事から屋の放送を利用した情報提供の機会を増やしているため、校外外の生活の決まりについて、子ども自身が自分ごととして真剣に考えているためと思われる。 <後期の取組> ①前期に新たな取組として、「学級のあいさつ名人」を紹介、掲示する活動を行っている。紹介された本人の自信につながり、周りにも良い影響を与えている。後期も継続して積み重ね、身近な良いモデルを示すことで、「よいあいさつの視覚化」を目指す。 ②「決まりを守ることがなぜ大切なのか」ということをじっくり考える時間を学級活動等の時間を活用して設定する。「決まりを守ると、どんなよいことがあるのか」という視点で考えさせ、「みんなで決めたことは守り、高めていこう」という姿勢をもたせ、社会性を育てたい。 ③生徒指導上の諸問題に関しては、後期も生徒指導主事から放送を活用して指導していくことを継続する。全校で統一した指導ができるようにする。			
	<b>【年度(→次年度)】</b>			

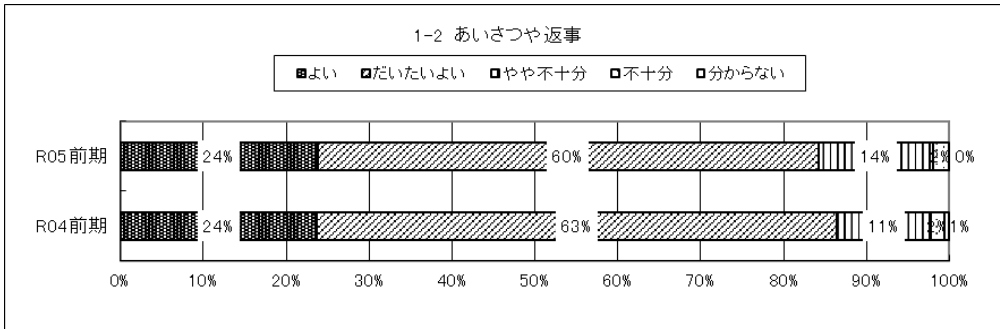
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
1 基本的な生活習慣	(1)明るく元気なあいさつと時間の厳守	校外外でのあいさつ運動 強調期間の設定による意識化 学習の始まりの時刻を意識した生活	3	
2 自主的・実践的な態度	(2)集団の一員として自覚ある行動	児童会活動の充実 想像力・協働力・発信力の育成	3	
3 安全な生活	(3)学校のきまりと時間遵守	活動の始まりと終わりの時刻を意識した生活 生徒指導に関わる情報共有と共通した指導	3	

※学校教育アンケートから

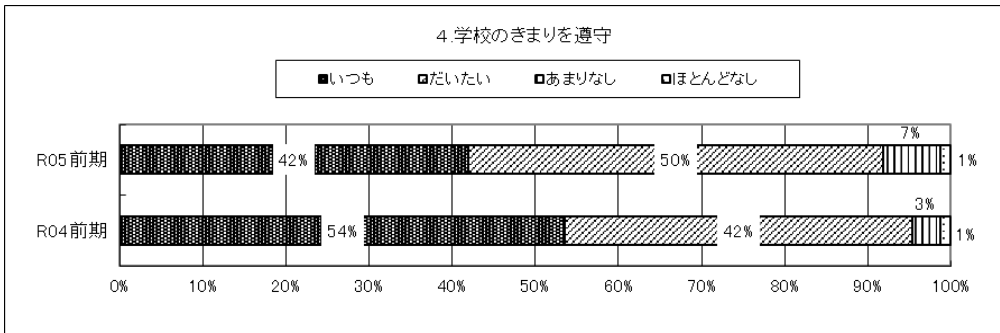
(児童)



(保護者)



(児童)



令和5年7月14日

け・公孫樹(いちよう)【傾聴】

不定期発行の 生徒指導部からのおたより 【No.6】 松本

1 あと、4日です… (松本テスト残ってます…けど、最終日までは終わらせる！)

1学期最終日前日に、もう一回発行しようと思っています。まずはここで、「もう1週間です。」明日からの三連休は、ゆっくりできるでしょうか？

明日からの三連休、そして1週間後から始まる夏休み、子どもたちのデジションは、**ほぼ、準備完了、Maxです！！**

先日行われた、前内事委員会の地域の方との情報交換会で、矢田田方面・親善各方面の交通安全に関する危険性や正しい実情を聞く機会に伺っています。

結果に「いかに子供、低学年中心でしたが、それ以外の学年も関わっています。特に、いかに交通安全、子どもたちが自分だけ歩道を走らせてもらっています。」

- ① 自転車、徒歩にかかわらず、絶対に飛び出しをしない。
- ② 自転車に乗る場合は、ヘルメットを必ず着用する。
- ③ 事故を起こした場合、事故にあった場合、関わったすべての人の人生が変わってしまうこと。(中高学年向け)
- ④ 横断歩道がある場合は、必ず横断歩道を使う。
- ⑤ 信号待ち、信号に近づきすぎない。

2 休み時間は、「覚悟をもって遊びます。」

最近の5年生の会食業のようになっています。7月に入って5年生は「休み時間に遊んでいるのトラブルからのケガ、そして保護者の目撃情報や学校側ではかまいませんでしたが「課外活動でのトラブルからのケガ、そして保護者間での話し合いが頻りに増えています。」

今後、絶対同じことは起こしません」と宣言したいんですが、絶対はありません。しかし、5年組としては「近づきたい」とは思っています。今していること。

- ① 平日朝、注意人物の休み時間の行動確認。保護者や先生に伝えておくのかの確認です。
- ② 遊び方のルールを確立。「何の遊びを、どんなルールでするつもりなのか、ルールブックを作る」各学年で作っていますが、意外と子どもたちは乗り気です。なぜなら、これまでルールで採っていたからです。
- ③ 防犯ケガ、防犯ケガを回避しなかった場合は、今後選ぶことはできません。その責任があるなら遊んでよい。

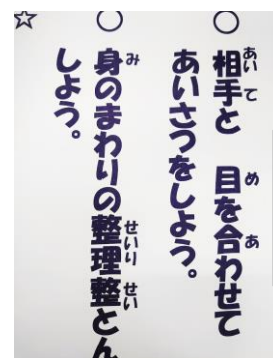
「遊んでも起こったら？ もちろん、起こります。(起こる可能性のほうが高いかもしれません。しかし、その場合に備えて、どんな対策を立てて、どんな状況で何が起きたのか、を説明する機会に備えて、上記の対策を立っています。このことを校長先生、教頭先生とも常時情報共有しています。」

夏休み前日7/20は何の日？① ○○整理の日 人間にとっては小さな一歩が、

学校の決まりについて、教職員の共通理解を図り、足並みを揃えて指導ができるように、生徒指導主事から教職員に向けて、生徒指導便りを発行している。



クラスで選出したあいさつ名人を掲示。



「目を合わせてあいさつ」をするという具体的な行動目標を月の目標に明記し意識付けた。